

2009年～京都南部地区西ブロック長期計画

2009年 3月 15日

ブロック担当司祭団・西ブロック役員

1. 信徒の自立と教会共同体の刷新を目指します。
 - ①部会制を発展浸透させます。
 - ②ブロック内での各部の協力を進めます。
 - ③集会司式者、聖体奉仕者の育成と、ブロック内の協力を進めます。
2. 信仰教育の充実を目指します。
 - ①教会学校を信徒皆が協力します。
 - ②信徒の養成や求道者の教育の充実のために、信徒皆が協力します。
3. 開かれた教会を目指します。
 - ①誰もが気軽に入って来ることができる教会づくりを行います。
 - ②共同体から活力を得て、外に向かって喜びを表せる共同体にします。

2009年度京都南部地区西ブロック短期計画

2009年 3月 15日

ブロック担当司祭団・西ブロック役員

1. 司祭・奉献生活者・信徒相互がお互いの違いを認め合って、仕えあい、支えあう共同体になる。
 - ① 様々な奉仕活動ができるよう部会制をさらに充実させていく。
 - ② 司祭・奉献生活者・信徒相互の分かち合いを大切にし、神への信頼を深める。
 - ③ 信徒が主体的に勉強会を企画したり、奉仕者同志が分かち合いを重ねて神への信頼を深める。
 - ④ ブロック内の情報を共有し、協力できる部分は小教区の枠にとらわれず協力しあい、ブロック共同体としての歩みをすすめていく。
2. 社会に向かって福音宣教できる共同体になる。
 - ① ひとりひとりがキリスト者として共同体の一員であることを自覚し、ひとは皆のために、皆はひとりのために奉仕できる共同体になる。
 - ② 信徒使徒職の役割を大切にし、自分のできるところから、教会のため、また社会のために働く喜びを見出す。
 - ③ ゼフィーロやホームページを活用し、外へのメッセージ（信仰）を発信していく。
3. 個人的にあるいは小教区として、またブロックとしての召命とは何かを考えて活動に生かす。
 - ① 信徒ひとりひとりが、自分にとっての呼びかけは何かということを考え、積極的に祈り、共同体のためにはたらく。経験者はそれをサポートする。
 - ② 小教区共同体として、ひとりひとりのために力になれること、あるいは社会に向かってできることを考え行動する。
 - ③ ブロック全体に対し、小教区ができる役割を考え、ブロックのために奉仕できる小教区となる。